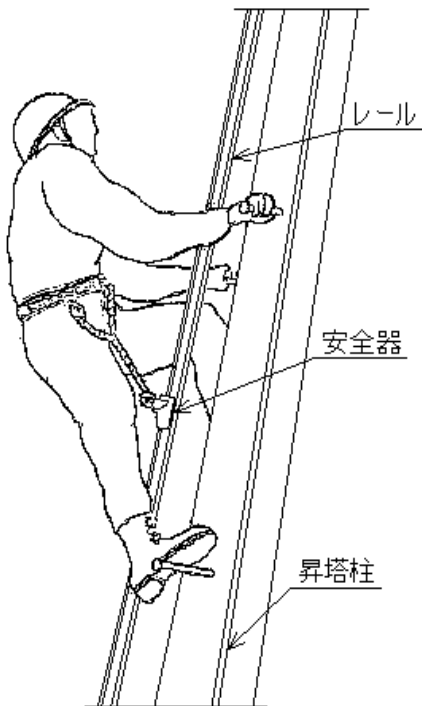


墜落防止装置



住電朝日精工株式会社



1. 目的

墜落防止装置は、工事・保守作業等で鉄塔（送電鉄塔、通信鉄塔他）の昇塔柱や梯子を昇降中に発生する墜落事故を防止する設備です。
作業者の安全確保を第一に考えた構造で、取付作業は容易に行うことができます。

2. 構造

墜落防止装置は、レール、ジョイント、取付金具およびストッパーから構成されており、堅牢にして現地取付が容易に行える構造となっています。

部品名	記号	適用例
1 レール	A6061S-T6	アルミニウムおよびアルミニウム合金押出型材
2 ジョイント	A6061S-T6	アルミニウムおよびアルミニウム合金押出型材
3 取付金具クランプ	A6061S-T6	アルミニウムおよびアルミニウム合金押出型材
4 取付金具本体(一例)	SS400	一般構造用圧延鋼材
5 ストッパー(クランプ)	A6061S-T6	アルミニウムおよびアルミニウム合金押出型材
6 ストッパー(本体)	SS400	一般構造用圧延鋼材

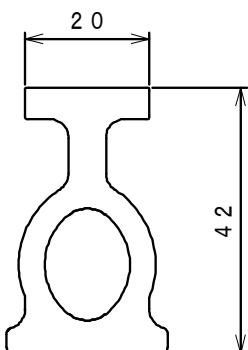


標準単長	重量	曲げ可能半径	安全器の適用
4.5m	1.37kg/m	R400mm	SR-R型・SR-A型

3. 特徴

- (1) レールに装着した安全器と作業者の安全帯とを接続して昇降作業を行う。(左上図参照)
- (2) 万一、足を滑らす等により、作業者が落下した場合、安全器のロックが作動し、作業者の墜落を防ぐ。
- (3) 墜落時には、人体へ与える衝撃荷重を抑えるように設計されている。
- (4) 各種取付金具があり、あらゆる昇塔柱（山形鋼、鋼管等）や梯子に取り付けることが可能

昇降作業状況



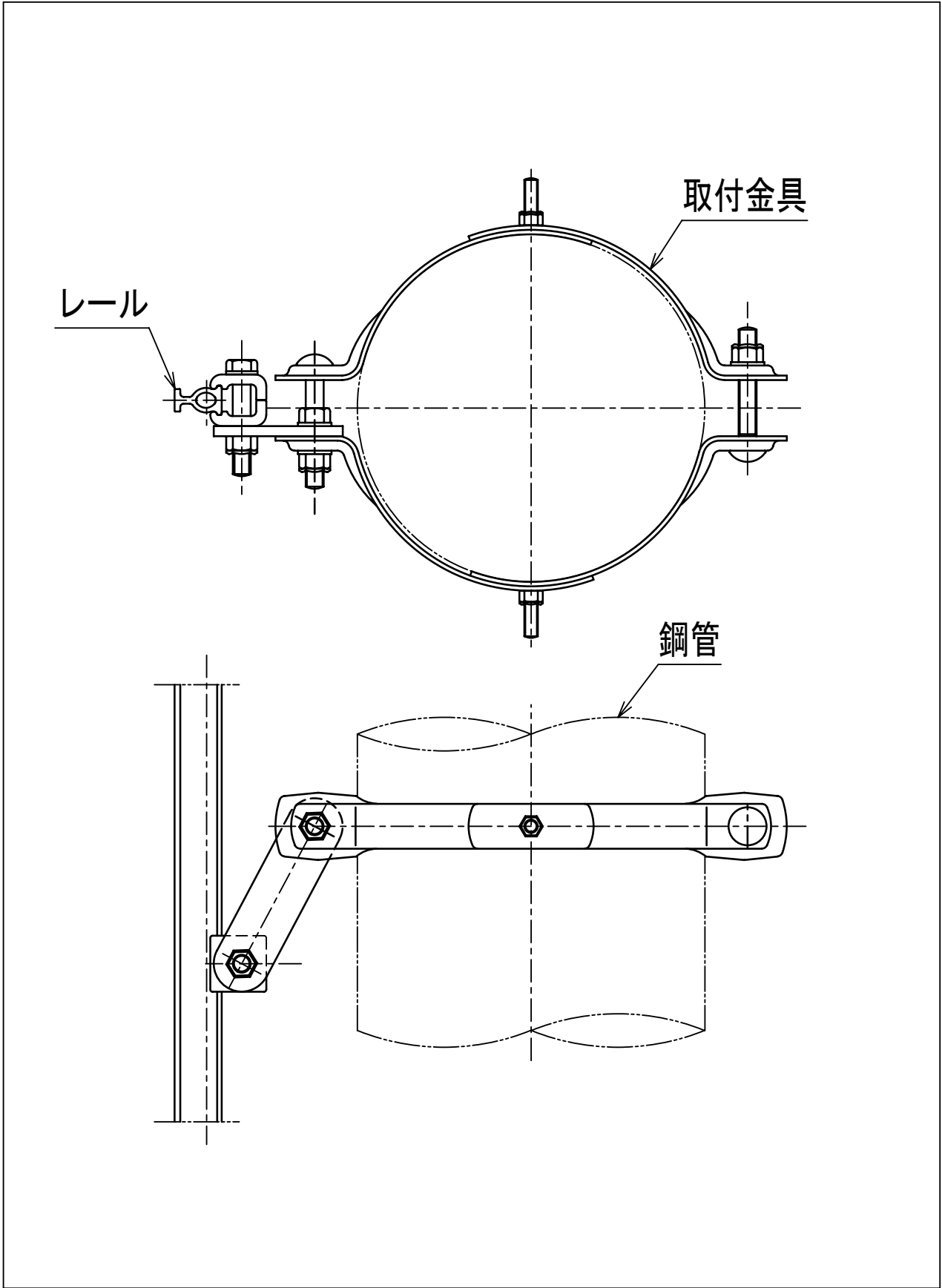
レール断面



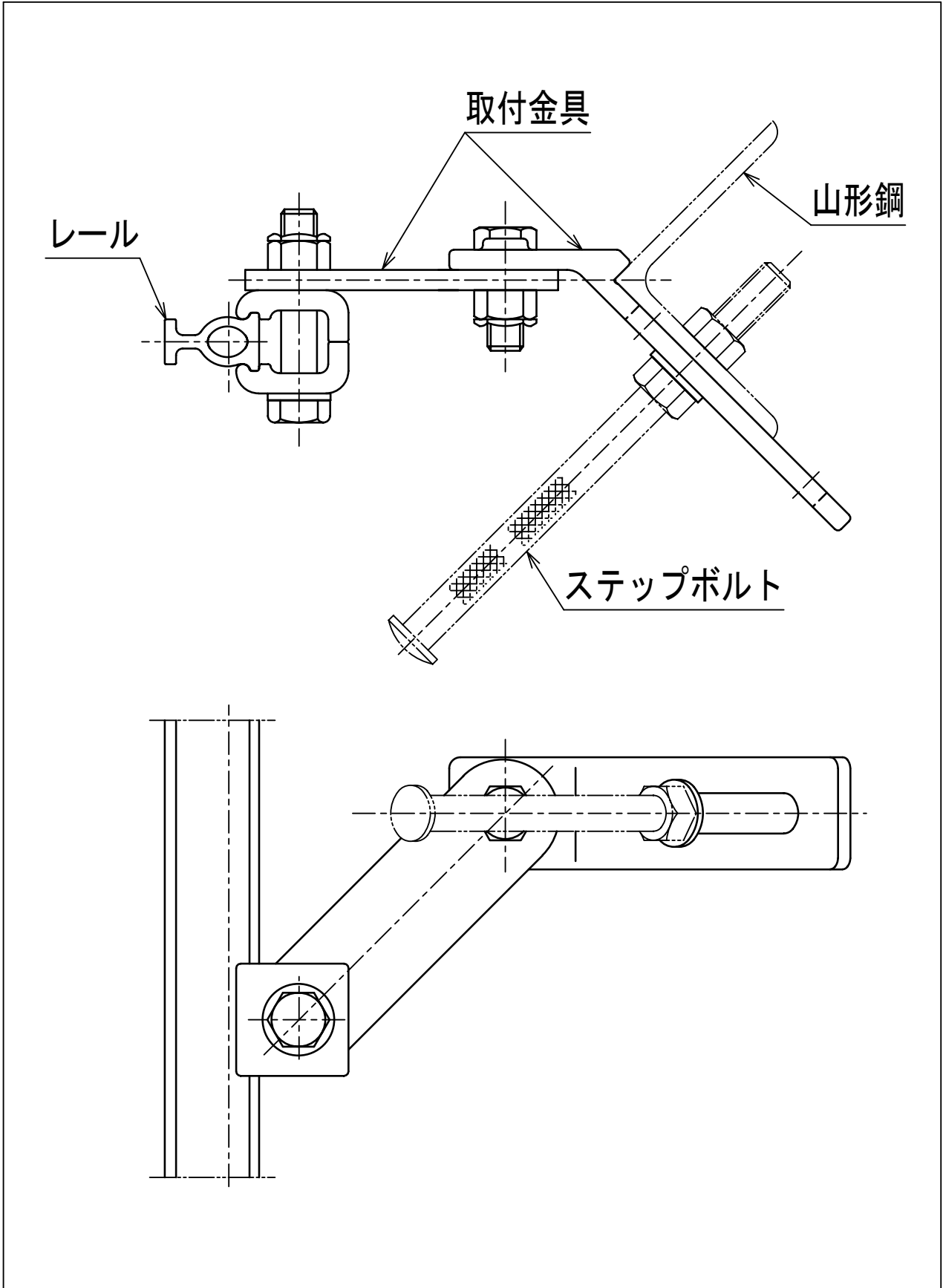
SR-R型(標準)



SR-A型(ロープ付)



鋼管鉄塔用取付金具



山形鋼鉄塔用取付金具